広報 かじき

全家庭に、もれなく配布

第206号
48. 1. 5 発行
発行 鹿児島県姶良郡加治木町役場
編集 総務課文書係
印刷 吉屋印刷所

頌春

正月の髪光らせて若人ら

牧笛郎

お正月にはたこあげて　（加治木港で）

■ メモ　人口／19.425　男／9.176　女／10.249　世帯／6,096　（47.12月1日現在）

補正予算 三千三百九十九万円

おもに職員のベースアップ費用
総合グラウンド造成なども議決

12月町議会

十二月町議会（第四回定例町議会）は、さる十二月十九日から二十六日までの八日間、町議事堂で開かれ、人権擁護委員の推薦についての意見や町職員の給与関係条例の一部改正、これに伴う予算の補正（追加）など十議案を審議しそれぞれの案件を可決しました。

四月にさかのぼり支給
町職員の給与の改訂

人事院の勧告に伴い、町職員の給与関係条例を一部改正して、四月にさかのぼってベースアップの差額を支給するものです。

このため一般会計で一千六百五十一万八千円、国保会計で二十六万四千円、水道会計で二百三十四万円、ざっと一千九百万円もの経費が必要となり、それぞれの会計予算の補正がなされたものです。

今回の補正で予算総額は十億二千三百六十万円に

なお、今回の一般会計の補正予算は三千三百九十九万四千円の追加ですが、給与関係のほかに次のような経費も含まれています。こんどの補正で、本年度の一般会計の予算総額は十億二千三百六十六万円となりました。

△老人福祉費（老人医療費の助成費）三百十万八千円。▽道路新設改良費（天神通り線歩道の舗装工事ほか）二百万円、▽農業用施設災害復旧費（鈴玉地区ほか七カ所）五百七十七万九千円。

統合中の用地など土地取得を決める

統合中学校の用地や進入道路などの土地（総面積三万九千九百平方メートル）を町の財産として取得したいので、関係条例によって議会の議決を求めたものです。

関係条例とは＝「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」

総合グラウンド造成工事三千三百万円で大英建設

町総合グラウンドの敷地造成工事は（四万五千平方メートル）三千三百二十五万円で大英建設が落札し、工事請負契約が締結したので議会の議決を求めるものです。

港町黒川線の道路工事は一千三十五万円で第一建設

港町黒川線の道路改良工事（延長四百八メートル幅七メートル）は、第一建設が一千三十五万円で落札しましたので、これも議会の議決を求めるものです。

完成は、いずれも来年三月末の予定です。

人権擁護委員に中摩さんを推薦

本町の人権擁護委員が一名増員となるため、町内・竹下の中摩多美子さんを新たに委員として法務大臣に推薦するもので、これには町議会の意見が必要である（人権擁護委員法第六条）とされており今議会に諮り、意見を求めたものです。

なお人権擁護委員には、柳田の日野良兼さんがこの任に当たっていますが、法務大臣の委嘱があると、中摩多美子さんと二人になるわけです。

○○○○○○○ 町臨時議会から

十二月七日に開かれた第六回臨時町議会で、次の議案が可決されました。

加治木幼稚園の新築工事二千二百九十万円で着工

加治木幼稚園の園舎、新築工事（鉄筋コンクリート二階建五百九十六平方メートル）は、町内の松田建設が二千二百九十万円で落札工事請負契約が締結したので、議会の議決を求めるものです。

寺崎・園田の両氏町教育委員に任命

町の教育委員に寺崎豊志氏（於里）と園田竹次郎氏（岩原東）を任命することに同意しました。

これは白尾国男委員と桑幡元長教育長の任期満了に伴うものです

年頭のごあいさつ

町長　曽木隆輝

あけまして

おめでとうございます。

町民のみなさんには、ごきげんよくご越年なさいましたことをおよろこび申しあげます。みなさまのご身辺には楽しいこともおありでしたろうが、いやなこともあったかとも思います。でもそれらを過去の中に送り込んで、明るい希望に満ちた新春を迎えられ、お祝い申しあげます

町としても、空港開設や縦貫道建設にともなういろいろな問題があったり、国体に関する諸行事とか、一年中あわただしい毎日、しかもつぎつぎに困難な案件にぶつかって、難渋したこともありました。しかし、町民のみなさんのご協力をいただいて、新年を迎えることができましたことを、みなさまに感謝いたします。

この一年間で人口も五、六百人ふえました。新しい建物もたちました。ことしは国道バイパスや町道整備のほか、空港までのハイウェイも準備が進みます。事業所もふえる見込みです。住みよい豊かな郷土づくりに、また町民福祉増進のため、できるだけの施策を講じ精いっぱいの努力をする覚悟ですが、むつかしい問題も数多く起こってくるでしょう。一段のご協力と一層のごべんたつをお願いします。

最後にみなさまのより大きなご多幸とご健康をお祈りして年頭のごあいさつといたします。

話題あれこれ

労働大臣から表彰

明乳・鹿児島工場に努力賞

労働省は、さきほど昭和四十七年度の全国労働安全衛生週間にちなんで、労働大臣が表彰する事業所や団体・個人などを発表しましたが、当町の木田にある明治乳業鹿児島工場も、これら五十三事業場の一つとして選ばれ、努力賞が労働大臣から贈られました。

これは同工場が、職場の労働衛生の管理活動を積極的にすすめ、職場での安全と健康を守り、快適な作業環境をつくるために努力したことに対して贈られたものです

町の新教育長に寺崎豊志氏就任

桑幡元長教育長の後任として迎えられた寺崎先生は、昭和十五年に広島高等師範学校を卒業後、別府市立中学校や鹿児島師範学校教諭などを経て、昭和二十年に鹿児島市視学に、翌年加治木工業高校長以後鹿児島工業高校長、県教育委員会の実業教育課長、社会教育課長のあと、伊集院、穎娃、加治木高校や正心高校長を歴任した県教育界の重鎮であったかたです。

統合問題や加治木幼稚園の開設問題など、重要案件の多い本町教育の元締めとして今後の活躍を期待されています。本籍は鹿児島市郡元町、現住所は町内の於里。明治三十九年の生まれで六十六歳。十二月二十六日付で就任。

助け合い募金にと錦江小の児童たち

「町内の施設や貧しいかたたちに役立ててください！」と、さる十二月二十五日に町内の錦江小の児童三人が町社会福祉協議会を訪ね、現金一万四千五百六十円入りの大きな封筒を手渡しました。

同校では毎年、年末に校内年賀ハガキを発行し、お友だちや先生に校内ポストを通じて配られますが、このハガキの売上代を例年NHKの助け合いに協力しているがことしは町内の人たちに役立てようと話し合いが決まり、さっそく児童会長の三浦浩二君と新蔵信彦君、森山里美さんら三人が届けたものです。このほか柁城小や竜門小、加中、加工高校などの児童生徒からの募金もありました。

英語の技能検定で加治木中に団体賞

加治木中では生徒たちが「実用英語技能検定」を受験し、四十六年度検定で四級百七人、三級九人が合格。とくに四級の大量合格はりっぱだと日本英語検定協会から団体賞が贈られました。この団体賞は郡内では初めてで県下でも少ないということです。

さらに四十七年度は四級に百六十六人、三級に（二次受験者）二十七人がいまのところパスしています。中学生の英語力は、読み書きは得意だが「話す・聞く」が苦手という現状。だが同校の廊下にはこの現状を克服した生徒たちの名札がズラリ掛けてあります。

なお二年生以上で三分の一は固く受験資格があるーと英語担任の話しです。

消防組合の本署に新鋭タンク車配備

姶良郡西部消防組合では、昨年末にタンク車（いすず百四十馬力総重量九トン、定員七人）を購入木田にある同消防本署に配備しました。この新鋭車には二・二トンの水と泡消火液（油火災用）三百リットルがタンク内に積み込まれ放水能力は毎分二トン。高圧式発泡機材一式を装備のほか、一般火災や油、電気火災用の消火器四本も積み込んでいます。

購入価格は四百五十万円ですが国からの補助九十六万円と起債による借金二百六十万円があてられています。

同組合では、この配備で司令車救急車、タンク車が各一台、ジープ型ポンプ車三台となり、広域消防の機動力が充実されました。

生活情報

むかしは暖身・いまは暖室

昔の日本の住まいで暖をとるといえば、こたつやいろり、火鉢などによって、手や足などを暖め、背中は寒いので丹前（たんぜん）などを着こんで、まるくなっていたものです。

すなわち、むかしは〝からだ〟そのものを暖める「暖身」を中心に考えていました。

部屋の保温に変わる

最近は住まいの構造も大きく変わり、アパートやブロック造りの住宅が非常に増加しているほか、アルミサッシの普及、効率のよい断熱材の開発などによって、建物の保温性能が大いに改善されてきています。

それに伴って、暖房の仕方も部屋全体を暖める「暖室」という考えが中心となってきています。部屋が暖いと、薄着でのびのびと活動しやすく、快適なうえに健康的であるわけです。

熱を逃がさない工夫

建物から熱が逃げる道は、壁や窓、屋根、床などから通過（熱が逃げる）するといわれます。

床の断熱は、たたみの場合は非常に効きめがよいのですが、板床（板の間）は二重張りにするとかじゅうたんを敷くのも効果があります。

ガラス窓は、とくに熱が逃げやすいので、雨戸や厚手のカーテンなどを取りつけて断熱効果をあげるとよいでしょう。

部屋の換気も必要

暖房効率をあげるためには気密性が必要ですが、いっぽうでは健康と安全のために部屋の空気をきれいにしておくことも大切です。

とくにガス・ストーブや石油ストーブなどの燃焼暖房では、燃焼のために多量の酸素が消費され、炭酸ガスや一酸化炭素ガスなど有毒ガス発生の心配もありますので換気（部屋の空気入れ換え）が必要になります。

また、同じ部屋に長時間、多人数が集まると酸素が不足したり、炭酸ガスやタバコの煙が充満して頭痛や目まい、耳鳴りなどを起こすこともあります。

このようにガス中毒の防止や衛生の面からも気密性を高めるいっぽう、適度の換気も必要ということです。

室内の温度は適当に

快適な暖房を考える場合、温度だけでなく、湿度も考えなければなりません。部屋のなかと外の温度差が大きいと、窓や壁に水蒸気がたまる〝結露〟の現像を起こすからです。

結露は、カビが生えて押入れのなかの収納物をいためる結果ともなりますので、注意が必要です。

新しい政治へ国民の審判

衆議選の投票結果

七九・一四パーセント

前回をやや上回る

昨年の十二月十日に行なわれた衆議院議員選挙の投票率は、町平均で七九・一四パーセント（男七八・四三パーセント、女七九・七三パーセント）という結果で八〇パーセントにあとわずかな数値となりました。

前回の衆議選（昭四四・十二・二七執行）の町平均投票率と比べてみますと、今回が三・七一パーセントと、やや上回ることになります。

これは有権者が、今回の選挙を身近なものとしてみんなが関心をもち「よく聞き・よく知り・よく考えて」投票に参加した結果だといえましょう。

しかし、なかには投票に参加しても、せっかくの権利の行使が無効として処理される票もあることです。これからは、このようなことがないよう、お互いが自覚して正しい投票で国民の権利を正しく行使したいものです。

当町での各候補者の得票数は次のとおりです（得票順）

村山喜一　三、五七六票
中馬辰猪　二、二八〇票
池田清志　一、六八六票
有馬元治　七九四票
山田正幸　七六九票
中尾　宏　五六七票
青木邦雄　二四二票
久保博俊　二〇三票
黒岩東五　一三一票

投票区	投票所	有権者数（人）	投票者数（人）	平均投票率 %
1	福祉センター	4.808	3.843	79.93
2	性応寺	1.732	1.376	79.45
3	錦江小	2.899	2.211	76.27
4	中福良	747	620	83.00
5	永原小	723	611	84.51
6	ひなば	206	162	78.64
7	鎮守小	312	274	87.82
8	西浦	302	228	75.50
9	川内	338	261	77.22
10	竜門小	710	557	78.45
11	中野小	329	229	69.60
合計		13.106	10.372	79.14
前回衆議選（44.12）		12.541	9.454	75.38

伸び伸びと明るい作品

センターホールに900余点を展示

第14回町美術展

第十四回の町美術展は、十二月八日から十日までの三日間、町福祉センターで開かれました。

会場には昨年よりも多い九百三点（児童生徒八二四点・一般七九点）の作品が展示され、連日町内の小中校の児童生徒や父兄など参観者の目を楽しませました。最終日の十日は、投票がえりの人たちがドッと会場につめかけ美展最良の一日となりました。

作品の審査にあたった書道の町田実秀先生と図工の海江田叶先生は、次のように批評しています。

【書道】小中校ともに本年は成績が向上している。よくに中学校に優秀な作品が多いことは、小学校での努力をさらに中学校で一段と精出した結果である。小学校では学校差がなくなりうれしいことだ。とくに本年の中野小の成績は目ざましい。努力の積み重ねには感心した……。【図工】町内の学校差を感じない。パタンがなくなり伸び伸びと表現された作品が多かった柁城小の久木田雅彦君（五年）の作品は身近な生活を題材として表現しており、とてもよい作品です……。

足をとめて習字に見入る児童

児童生徒の入賞者

（特別賞、奨励賞、特選、入選）は二百五十人ですが、このうち特別賞と奨励賞を次に紹介します。

▽町長賞

習字　松元月代（加治木三）

描画　久木田雅彦（柁城小五）

▽教育長賞

習字　柳川公寿（加治木中三）

デザイン楠森裕延（柁城小四）

▽議長賞

習字　上園伸隆（加治木中二）

工芸　福岡康弘（同一）

▽商工会長賞

習字　中島しのぶ（錦江小六）

絵画　二之村裕子（加中三）

▽農協長賞

習字　西山孝幸（中野小三）

デザイン金田ゆかり（錦江二）

▽南日本書道会賞

習字　ふじさきけんじ（柁二）

▽南日本新聞社賞

習字　田代ちどり（永原小二）

彫刻工芸　徳永りか（竜小一）

▽奨励賞

習字＝きじまひさと（柁一）なかしまだいすけ（同）どうぞのこうじ（同二）豊留ともえ（錦三）稲恒美奈子（同）蓬原みどり（永小三）吉村直子（柁四）平島優子（錦四）永吉五月（中野六）岩沢藤子（加中一）山下博子（同）上猶あけみ（同）西房代（同二）山口まさと（同三）

絵画＝本馬場じゅんいち（柁城一）くらみついつし（同二）安藤佐智子（同三）福ケ迫和弘（錦江四）市井川絵利（柁城五）満富幸三（同六）江口一也（加中一）仮屋敷淳子（同二）

デザイン＝外村あけみ（永原小一）四元八郎（柁城三）木原博樹（同五）篠原幹浩（同六）福薗秀己（竜中一）嶋弘美（加中二）吉田健一（竜中三）

工作＝上村智子、上村和代、曲田あけみ（合作・永原二）藤浦和幸（錦江三）有村弘文（中野四）内村満行（竜門五）新蔵信彦（錦江六）右田智子（加中三）

なお、特別賞の作品は町立図書館内に一年間展示することとしました。

入賞者のみなさん、おめでとう

十二月二十五日付で

桑幡元長氏（教育長）が勇退

加治木町教育長の桑幡元長先生の任期が、さる十二月末で満了しましたので、先生は惜しまれながら勇退され、後任に前の鹿児島日大高校長の寺崎豊志先生が就任されました。

桑幡先生はさきに鹿屋農業高校の校長から本町に迎えられて、二期八年の任期をつとめられました町立各小中学校や錦江幼稚園さては加治木幼稚園などの施設設備の充実、児童生徒の学力や体位の向上はもちろん、婦人会、青年団などの民主団体や文化協会、体育団体、社会教育関係の育成など陣頭に立ってその発展にまい進され、大きな実績をあげてもらいました。

また内部的にも教育課、社会教育課、体育保健課を設けて内容を整え、指導体制を充実するなど日夜懸命の努力をし、今日の本町教育を県下に誇るべきものに仕上げられました。伊集院町と教育姉妹町とし、お互いにせっさしながら文化教育の向上を企図し、さては郡の教育長会長、県の副会長として、県下教育行政の進展に貢献され、内外の信望高く、せっかくその構想は実現しつつありました。

こんな際に、任期満了で勇退されることは、各方面から大いに惜しまれていますが、辞意固く、ついに町長は、これを承諾することとなりました。先生の幾多の大きな功績をたたえ、今後のご健康を祈っています。

町選管委員長に大脇篤彦氏就任

町の選挙管理委員会の委員長や委員それに補充員が、十月三十一日付で次のようにかわりました。

委員の任期は四年です。

▽委員長　大脇篤彦（木田）

▽委　員　大宮路篤男（辺川）有馬正男（本町）山元重志（小山田）

▽補充員　堅山喜一郎（木田）前田平八（本町）岩崎清（西別府）鶴田貞義（小山田）

竜門句会

年の瀬や暇あるごとく　無きごとく　透山

美しく枯れたしと思ふ　枯野ゆく　江南

朝霧の歩度たしかなり　鵙の歌　耕

金的にはっしと響き散る　銀杏　玄洋

もてあます一椀の牛乳　師走病み　愛子

散り敷ける銀杏それぞれ　翳りもち　夏江

侯鳥裸木さけ密林へ一散　禾陽

寒月や銀杏の木々の太き瘤　青鹿

今日はまた別の買い手の　冬田かな　大鵬

咳続くときあり吾も　亡夫に似て　斗南

（十二月例会）

あなたの技能を求めています

お正月を機会に県外の職場を退職し、帰郷されたかたで、県内で就職を希望するかたは、国分職業安定所か同加治木分室（町役場の西）にご相談ください。

国分市や隼人、加治木町などにある製陶・製縫・建設など十一の事業所が、あなたの技能を求めています。

〃〃〃〃〃〃〃 香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

金額　ご遺族　故人

五万円　本町　林　イネ（夫新太郎）

三万円　楠園　三反トメ（夫市次）

一万円　上木田　境田アキ（夫武雄）

五千円　西汐入　塩屋トシ子（夫政男）

五千円　鞍掛屋所　勲（母シゲ）

五千円　井手向　前田　稔（父斉）

五千円　札立　中島悦浄（妻永順）

一万円　楠園　楠本春美（父慶二）

一万円　隈原上　坂元光子（夫秀則）

○十二月二十日までのご寄付を掲載しました。

随想

蕾ふくらむころ

曽木　隆輝

久しぶりに何の予定もないある休みの日、私は縁側に座ぶとんを持ち出して、ひなたぼっこをしながら、過ぎた年新しい年のそこはかない思いにふけるのだった。風は冷いが、冬空は澄み切って一条の薄陽が、葉は一枚もないが熟してしぼんだ実のひとつ残った柿の木の彼方（かなた）から光を投げている。

狭いこの加治木の天地にも、いろいろな問題が起こってきた。私たちの子どものころハマ投げやタコあげに興じた道路は、自動車の洪水だし、庭さきに群れていた小鳥もこなくなった。昨年中ほとんど連日連夜、諸公共施設の用地の買収や幼稚園のことで関係のみなさんとともに悩みぬいたことなどなまやさしいことではなかった。

全部、意のごとく片付いたわけでない。相手のある交渉ごとだけ熟慮し入念に対応しても、強制だ人権無視と反対されるし、一方では誠意がないとつかれる。でも、これほど問題が起こるのは、それだけ発展への生みの悩みと思う。殻（から）を破ることのむつかしさを感ずる。

総選挙から第二次田中内閣の発足となった。自分が総理大臣になり、しかも独裁宰相にでもならなくてはできそうでないことを「こうします」と言い切ったり、いいかげんな薬の効能書みたような政策もきかされた。とまれ政党政派を越えて郷土の面倒を見てもらうよう、地区選出の新代議士諸先生に要望したい。

経済伸張という荒波を乗り切って、住民の福祉がことしこそは高まるよう祈る。

昨年、植木屋にすすめられて植えた紅梅の花が咲くかと庭におり立つ。まだ蕾（つぼみ）はかたいが、どんな色か、どのくらい花をもつか、楽しみに枝の蕾のふくらみに手をふれてみる。山茶花は満開で、紅白の花びらは静かにくずれおちる。水仙も袴から茎が伸びて花が開いた。私は紅梅もやがて蕾が開いて花となり、ゆかしい香りを春風にのせてただよわせる日を、いまかいまかと待っている。

新しい年の始めに、新内閣によって国がいっそう栄え、私たちの町も一段と発展し、住民の暮しがますます豊かになることを今年こそは実現させようと、花の蕾の開くように期待と希望をかけながらあれもこれも夢みるのだった。短い冬の日は足早やに暮れかかる。消防出ぞめ式がすむと上京して、中央への陳情や諸会合への日程を追って行かねばならない。明日からの活動が実り多いものであるようにと念じて電灯のスイッチをひねった。